

結核を早期発見するには定期健診(胸部エックス線検査)と早めの受診が大切です

○健康診断や早期受診により、結核を早期発見することができ、家族や職場など周りの人への感染を予防することができます。

○技能実習生に対しては労働安全衛生法、労働安全衛生規則に基づき、雇い入れ時及び定期健康診断(1年以内ごとに1回)を実施することとなっており、健診項目には胸部エックス線検査が含まれています。

※定期健康診断では「医師が必要がないと認める時」は健診診断項目を省略できることとされており、胸部エックス線検査も年齢によって省略できることになっていますが、技能実習生等の外国人には毎年の実施を勧めています。

結核とは



せきが2週間以上続く、たんが出る、体がだるい、微熱が続く、体重が減る、食欲がない

○結核とは結核菌によって主に肺に炎症がおこる病気です。
○せきやたんが出る、微熱が続くなど、風邪によく似ています。

○せきやくしゃみとともに飛び散った結核菌を吸い込むことで感染します。

○感染した人がすべて発病するわけではありませんが、発病した場合でもきちんと治療すれば治る病気です。

○結核にかかっていることに気づかずに治療が遅れると、病状を悪化させてしまうだけでなく、知らないうちに周りの人に感染させてしまうこともあります。

○患者の経済的負担を軽減するため、医療費の公費負担制度も整備されています。

○左記の症状がある場合には、早めに受診を勧めてくださいますようお願いします。

外国生まれの結核患者が増加しています

○近年の外国人労働者の増加に伴い、新規結核患者に占める外国生まれの患者の割合が全国的に増加しています。

○沖縄県においても、患者数・割合が毎年増加しており、今後も増加していく可能性があります。

○結核は発症した場合でも、きちんと治療すれば治る病気です。外国人を雇用される事業者の皆様におかれましては、結核を正しく理解して、外国人をはじめとした従業員の健康管理を行っていただきますようお願いします。

【結核についての相談先】

沖縄県南部保健所健康推進班

TEL : 098-889-6591



シールぼうや